

「(仮称) 郡山市人口ビジョン・郡山市総合戦略」策定のための

就学・結婚・子育て年代に対するアンケート調査

アンケート調査の目的と調査へのご協力をお願い

市民の皆様におかれましては日頃より市政及びまちづくりにご理解ご協力を頂き誠にありがとうございます。

我が国の人口は平成 20 年から減少に転じており、とりわけ地方で人口減少が進んでいます。すでに東京圏には過度に人口が集中しており、東京圏への人口集中が日本全体の人口減少に結びついています。このような状況を受け、国では人口減少対策として平成 26 年 9 月「まち・ひと・しごと創生本部」を設置し、魅力ある地方の創生に取り組もうとしています。

郡山市ではこうした状況をうけ、「(仮称) 郡山市人口ビジョン・郡山市総合戦略」を策定し、人口減少対策に取り組むこととしております。戦略等策定にあたって、郡山市民の皆様のお考えを反映するため、今回「就学・結婚・子育て年代に対するアンケート調査」(以下、本アンケート調査)を実施することとなりました。本アンケート調査結果を踏まえて、子育てのしやすい、学び・働き・住み続けたいくなるまちづくりに向けた方策を検討してまいります。

なお、本アンケート調査は 7 月 1 日現在で郡山市に住民登録をされている 16 歳～49 歳(抽出時点の満年齢)の市民の皆様から 1,500 人の方を無作為に抽出して調査対象とさせていただきます。調査票は無記名でご回答頂きますので、個人が特定されることはありません。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力頂けますようお願い申し上げます。

平成 27 年 7 月

郡山市政策開発部政策開発課

調査票への回答にあたって

- 本アンケート調査にはお送りした封筒の宛名の方が回答して下さい。回答者ご本人が長期不在などで回答が難しい場合はご家族の方などが代わりにご回答下さい。
- 本アンケート調査は無記名です。お名前を記入せずに調査票を返送してください。
- 各設問には回答される方のお考えに最も近いものを選び、その番号に『○』印を付けてください。『○』の数は特に指定のない場合、1 つだけをお願いします。
- 『その他』に『○』を付けた場合は()内にその内容を具体的にご記入下さい。
- 黒太枠内には数字で回答して下さい。

調査票は各自でご記入いただいたのち、同封した返信用封筒に入れて切手を貼らずに最寄りの郵便ポストに 8 月 10 日(月)までにご投函下さい。

調査内容についてご不明な点があれば下記にお問い合わせ下さい

郡山市政策開発部政策開発課 担当 政策推進係 電話：(024)924-2021

(仮称) 郡山市人口ビジョン・郡山市総合戦略
構成のイメージ

地方創生をめぐる現状

1. 我が国の人口減少の現状
 - 人口減少は歯止めがかかっていない。平成 26 年の合計特殊出生率は 1.42 に低下、年間出生数は過去最低（約 100 万人）。
2. 東京一極集中の傾向
 - 平成 26 年には東京圏へ 11 万人の転入超過（前年比約 1 万 3 千人増）。若年層（特に若年女性）が流入。
3. 地域経済の現状
 - 地域経済は、有効求人倍率や一人当たり賃金、就業者数など雇用・所得面で改善。一方、消費の回復が大都市圏に比べ遅れ。人材不足も顕在化。



国

長期ビジョン：2060 年に 1 億人程度の人口を確保する中期展望を提示
総合戦略：2015～2019 年度（5 か年）の政策目標・施策を策定



地方における人口減少と地域経済縮小の克服



郡山市

郡山市人口ビジョン
(2060 年までを基本)

郡山市総合戦略
(5 か年) ※国の総合戦略を勘案

— 中長期的展望 —

- I. 人口の現状分析
人口動向や将来人口推計の分析
- II. 人口の将来展望
目指すべき将来の方向性や施策の方向性を踏まえた展望

自然増減 } 目標設定
社会増減 }

基本目標と基本的方向

具体的な施策

しごとづくり

ひとの流れをつくる

結婚・出産・子育て支援

.....

.....



本アンケートをはじめとした多様な意見の反映

就学・結婚・子育て年代に対するアンケート調査 調査票

家庭・結婚に対する考え方についてお聞かせ下さい

問1. あなたはこれまで結婚したことがありますか。

- 1 結婚したことがない
- 2 結婚している・結婚したことがある
(事実婚含む)

問2. あなたは結婚についてどのようなお考えをお持ちですか。あなたのお考えに近いものを3つまでお選び下さい。(複数回答)

- 1 精神的な安らぎの場が得られる
- 2 現在愛情を感じている人と暮らせる
- 3 自分の子どもや家庭が持てる
- 4 生活上便利になる
- 5 経済的に余裕が持てる
- 6 社会的信用を得られ周囲と対等になれる
- 7 親から独立できる
- 8 親を安心させ周囲の期待にこたえられる
- 9 個人の自由であり、結婚しなくともよい
- 10 その他 ()

問3. あなたにとって理想の家族の住まい方とはどのようなものですか。

- 1 ひとり暮らし
- 2 夫婦のみの二人暮らし
- 3 親と子による核家族世帯で、祖父母とは離れて住む
- 4 核家族世帯(親と子の世帯)で、父方の祖父母(夫の親)と近居
- 5 核家族世帯(親と子の世帯)で、母方の祖父母(母の親)と近居
- 6 三世帯同居〔親・子・父方の祖父母(夫の親)〕
- 7 三世帯同居〔親・子・母方の祖父母(母の親)〕
- 8 その他 ()

問4. あなたの現在の婚姻状況をお聞かせ下さい。

- 1 現在配偶者はいない(かつていた方も含む) ⇒問5にお答え下さい
- 2 現在配偶者がいる(事実婚含む) ⇒問14に進んで下さい

【問5～問13は問4で1を選んだ方(現在独身の方)にお聞きします】

問5. 現在あなたには特定の交際相手がありますか。

- 1 特定の交際相手はいない
- 2 特定の交際相手がいる
- 3 婚約者がいる

問6. あなたは将来結婚したいと思いますか。

- 1 すぐにでも結婚したい
- 2 2～3年以内に結婚したい
- 3 いずれは結婚したい
- 4 以前は結婚したいと思っていたが結婚しないと思う
- 5 結婚するつもりはない
- 6 わからない

問7. 結婚を考えるにあたって気になっていること、心配なことがありますか。あてはまるものを3つまで選んで下さい。(複数回答)

- | | |
|-------------|-------------------|
| 1 結婚にかかる費用 | 2 結婚後の仕事や収入 |
| 3 自分の家族との関係 | 4 結婚相手の家族や親せきとの関係 |
| 5 結婚後の住まい | 6 出産や育児 |
| 7 生活スタイルの変化 | 8 将来の人生設計 |
| 9 その他 () | |

問8. あなたが独身でいる理由についてお聞かせ下さい。あてはまるものを3つまで選んで下さい。(複数回答)

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1 結婚の必要性を感じていないから | 2 同棲でよいと思っているから |
| 3 仕事または学業に打ち込みたいから | 4 趣味や娯楽を楽しみたいから |
| 5 独身の自由さや気楽さを失いたくないから | 6 異性と知り合う機会がないから |
| 7 希望の条件を満たす相手に巡り合わないから | 8 異性とうまく付き合えないから |
| 9 経済的に余裕がないから | 10 精神的に余裕がないから |
| 11 結婚後の住居のめどが立たないから | 12 親や周囲が結婚に同意しないから |
| 13 その他 () | |
| 14 特に理由はない | |

問9. あなたが結婚を希望する時期(年齢)についてお聞かせ下さい。

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1 25歳未満 | 2 25～29歳 | 3 30～34歳 |
| 4 35～39歳 | 5 40～44歳 | 6 45～49歳 |
| 7 50歳以上 | | |

問10. 晩婚化の原因として交際のきっかけとなる出会いの不足が理由として挙げられています。出会いの機会についてお聞かせ下さい。

- | | |
|--------------|------------------|
| 1 出会いの機会は多い | 2 出会いの機会はそれなりにある |
| 3 出会いの機会が少ない | 4 出会いの機会がない |

問11. あなたは結婚のための具体的な取り組み(婚活)をしたことがありますか。

- | | |
|--------------|-------------|
| 1 婚活をしたことがある | ⇒問12にお答え下さい |
| 2 婚活をしたことがない | ⇒問13に進んで下さい |

【問11で1を選んだ方(婚活に取り組んだことのある方)にお聞きします】

問12. これまで取り組んだ婚活内容についてあてはまるものを選んで下さい。(複数回答)

- | | |
|-----------------------------|----------------------|
| 1 友人などに交際相手の紹介を依頼 | 2 合コンに参加 |
| 3 お見合いをする | 4 婚活パーティーなどに参加 |
| 5 魅力を高めるための自分磨き | |
| 6 出会いが多そうなところに行く(サークル、バーなど) | |
| 7 親や親せき、上司などに紹介を依頼 | 8 インターネットの婚活サイトなどを利用 |
| 9 結婚相談所や結婚紹介サービスを利用 | |
| 10 その他 () | |

<独身のすべての方がお答え下さい>

問 13. 行政において住民の結婚を支援する取組みが各地で行われていますが、行政による結婚支援策としてどのようなものが有効と考えますか。あてはまるものを3つまで選んで下さい。(複数回答)

- 1 結婚したい人の出会いの場づくり
- 2 ワークライフバランスの改善に向けた企業等の雇用主に対する労働時間短縮の働きかけ
- 3 企業等の雇用主に対する正規雇用促進の働きかけ
- 4 性別に関わらず社会参加や自己実現が可能な社会に向けた啓発活動
- 5 性別に関わらず家事・育児への参加を推進する学習の場づくり
- 6 子育てしやすい社会環境づくり
- 7 その他 ()
- 8 行政には期待しない

出産・子育てに対する考え方についてお聞かせ下さい

問 14. 結婚、子育て経験の有無に関わらず、あなた自身は子どもを何人持つのが理想ですか。「現在」「予定」「理想」の子ども数をお聞かせ下さい。

- A) 現在の子ども数 B) 今後予定している子ども数 C) 理想とする子ども数
- 人 人 人

※上記太枠内に数字でご記入下さい。子どものいない方はA欄に“0”とご記入下さい。

問 15. 「現実の子ども数」と「理想とする子ども数」の関係についてお聞きします。問 14 の回答結果は以下のどちらに該当しますか。

- 1 現在の子ども数(A)と今後予定している子ども数(B)を合わせれば、
既に理想とする子ども数(C)に達しているか上回っている ⇒ 問 17 に進んで下さい
- 2 現在の子ども数(A)と今後予定している子ども数(B)を合わせても、
理想とする子ども数(C)に達しない ⇒ 問 16 にお答え下さい

【問 15 で 2 と答えた方 (理想子ども数を持つのが難しいと考えている方) にお聞きします】

問 16. 理想とする子ども数を持つことが難しい理由について、当てはまるものを3つまで選んで下さい。(複数回答)

- 1 子育てや教育にお金がかかりすぎる
- 2 住居が狭い
- 3 自分の仕事に差し支える
- 4 子育てを手助けする人がいない
- 5 子どもがのびのび育つ環境ではない
- 6 自分や夫婦の生活を大切にしたい
- 7 高齢出産となり不安だから
- 8 健康上の理由
- 9 育児の心理的・肉体的負担が大きい
- 10 子どもは欲しいが授からない
- 11 配偶者の協力が得られない
- 12 定年退職までに成人してほしいから
- 13 その他 ()

【すべての方にお聞きします】

問 17. 理想とする子ども数に近づくために必要なことは何だと思えますか。当てはまるものを3つまで選んで下さい。(複数回答)

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| 1 育児休業制度の充実 | 2 家事・育児に関する家族等の支え |
| 3 職場における理解や支援 | 4 地域や社会全体での子育て支援体制 |
| 5 職場内保育施設の整備 | 6 長時間保育の実施 |
| 7 待機せずに入所できる保育所の整備 | |
| 8 子どもが病気やケガの時に預けられる施設の充実 | |
| 9 子どもの安心安全な活動場所の確保 | 10 出産費用の負担軽減措置 |
| 11 保育料の軽減措置 | 12 その他の子育て・教育費用の負担軽減 |
| 13 その他 () | |

【子どもがいる全ての方にお聞きします】

問 18. 第一子の年齢(年代)をお聞かせ下さい。

- | | | |
|---------------|------------|---------------|
| 1 1歳未満 | 2 1歳以上3歳未満 | 3 3歳以上就学前 |
| 4 小学校低学年 | 5 小学校高学年 | 6 中学生 |
| 7 中学校卒業後18歳未満 | 8 18歳以上の学生 | 9 18歳以上(卒業済み) |

問 19. 祖父母や兄弟など親族の育児への関わり方についてお聞かせ下さい。

- 1 支援を受けられる環境にない(親族がいない・遠くに住んでいる)
- 2 同居・近居の親族がおり、育児に関わってもらっている
- 3 現在は支援を受けていないが、できれば支援をしてほしい
- 4 親族に負担をかけたくない
- 5 育児に干渉してほしくない
- 6 その他 ()

問 20. 子育てに関する悩みや不安について、当てはまるものを3つまで選んで下さい。(複数回答)

- 1 教育費などの経済的な問題
- 2 部屋が狭い、部屋数が少ないなど住宅の問題
- 3 子どもの学校生活や交友関係
- 4 近くに子どもの遊び相手がない
- 5 同じ年頃の子どもを持つ母親・父親が身近にいない
- 6 子どもの育て方について、配偶者や親族と価値観が合わない
- 7 子育てに配偶者や親族の参加・協力が得られない
- 8 保育所や幼稚園などについての情報が入手しにくい
- 9 子どもの健康管理や遊ばせ方について適当な相談相手が身近にいない
- 10 緊急時や急な用事ができたときに子どもを預けられるところがない
- 11 子どもが安全に育つ社会環境ではない
- 12 環境汚染や食品の安全性が心配
- 13 その他 ()

【すべての方にお聞きします】

問 21. 子育てしやすい環境づくりのため、地域住民の子育て活動への積極的な参加が求められています。あなたが参加したいと思う活動を3つまで選んで下さい。(複数回答)

- 1 子育てに関する悩みについて相談に乗る活動
- 2 子育てをする親同士で話ができる仲間づくりの活動
- 3 子育てに関する情報を提供する活動
- 4 子育て家庭の家事を支援する活動
- 5 不意の外出や親の帰りが遅くなったときなどに子どもを預かる活動
- 6 子どもと一緒に遊ぶ活動
- 7 子どもにスポーツや勉強を教える活動
- 8 地域の伝統文化を子どもに伝える活動
- 9 子どもに自分の職業体験や人生経験を伝える活動
- 10 小中学校の校外学習や行事をサポートする活動
- 11 子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする活動
- 12 子どもと大人と一緒に参加できる地域の行事やお祭りなどを行う活動
- 13 その他 ()
- 14 特になし

問 22. 出生率が低下している理由について、あなたの考えに近いものを3つまで選んで下さい。(複数回答)

- 1 保育所が足りないなど、子育てしながら働くための社会制度が整っていないため
- 2 育児休暇など、子育てと両立できる職場環境が十分に整っていないため
- 3 自分の時間を大切にしたり、自己実現を求める人が多くなっているため
- 4 女性が社会進出できる機会が増え、婚期や出産のタイミングを逃してしまうため
- 5 不景気やリストラなどで経済的に苦しい人が多いため
- 6 核家族化によって日頃の生活の中で育児を助けてくれる人がいなくなったため
- 7 必要な時に一時的に子どもを預けられる環境が不足しているため
- 8 夫婦が協力して育児ができていないため
- 9 子育て中の親が社会との接点がなくなり、疎外感や孤立感を感じやすいため
- 10 晩婚化・非婚化や離婚の増加のため
- 11 その他 ()

学業・しごとについてお聞かせ下さい

問 23. 現在のあなたの就学・就業状況をお聞かせ下さい。

- 1 市内の学校に通っている ----- ⇒ 問 24 にお答え下さい
- 2 市外の学校に通っている -----
- 3 市内の事業所に従業している
- 4 市内で自営、または家業に従事している
- 5 市外の事業所に従業している
- 6 市外で自営、または家業に従事している
- 7 就学も就業もしていない(無職・家事手伝い等)
- 8 専業主婦(夫)
- 9 その他 ()

⇒ 問 27 に進んで下さい

【問 24～26 は学生の方（問 23 で 1 または 2 と答えた方）にお聞きします】

問 24. 卒業後の進路についてどのようにお考えかお聞かせ下さい。

- 1 大学・大学院・短期大学・専門学校等への進学を希望している ⇒問 25 にお答え下さい
- 2 就職を希望している ⇒問 27 に進んで下さい

【問 24 で 1 と回答した方（進学希望の方）にお聞きします】

問 25. 進学を希望する学校の所在地はどこですか。

- 1 郡山市内
 - 2 福島市
 - 3 いわき市
 - 4 その他福島県内（具体的に：)
 - 5 仙台市
 - 6 その他東北地方
 - 7 東京圏（東京・埼玉・千葉・神奈川）
 - 8 その他関東地方（茨城・栃木・群馬）
 - 9 その他国内
 - 10 海外
- ⇒問 27 に進んで下さい
- ⇒問 26 にお答え下さい

【問 25 で 1 以外と回答した方（希望進学先が市外の方）にお聞きします】

問 26. 市外（東京等）に進学を希望する理由をお聞かせ下さい。

- 1 自分の学力に合った学校が市内にない
- 2 自分の興味がある学部学科、専攻コースのある学校が市内にない
(学部学科、専攻コース：)
- 3 市外の学校の方が通学に便利
- 4 市外の学校の方が就職に有利
- 5 市外に出たい・親元から離れたい・一人暮らしがしたい
- 6 賑やかな都会に憧れている
- 7 その他 ()

問 27. あなたの現在の求職状況をお知らせください。

- 1 就職・転職先を求めている
 - 2 起業を希望している
 - 3 家業を継ぐ（手伝う）ことを予定している
 - 4 現在のままでよい
 - 5 その他 ()
- ⇒問 28 にお答え下さい
- ⇒問 33 にお進み下さい

【問 27 で 1 または 2 と回答した方（就職・転職・起業希望の方）にお聞きします】

問 28. 希望する就業形態についてお聞かせ下さい

- 1 正社員
- 2 契約社員
- 3 嘱託職員
- 4 自営業・役員
- 5 農林水産業
- 6 パート・アルバイト
- 7 その他 ()

問 29. 就職・転職を希望する事業所の所在地、起業を希望する場所はどこですか。

- | | | |
|---------------------|-----------|-----------------|
| 1 郡山市内 | | ⇒問 33 に進んで下さい |
| 2 福島市 | 3 いわき市 | } ⇒問 30 にお答え下さい |
| 4 その他福島県内（具体的に：) | | |
| 5 仙台市 | 6 その他東北地方 | |
| 7 東京圏（東京・埼玉・千葉・神奈川） | | |
| 8 その他関東地方（茨城・栃木・群馬） | | |
| 9 その他国内 | 10 海外 | |

【問 29 で 1 以外と回答した方（市外で働きたい方）にお聞きします】

問 30. 市外（東京等）で働くことを希望する理由をお聞かせ下さい。

- 1 希望する収入が得られる職場が市内にない
- 2 自分の資格や能力を活かせる職場が市内にない
- 3 自分の興味がある業種、職種の職場が市内にない
(希望業種・職種：)
- 4 市外の職場の方が通勤に便利
- 5 市外に出たい・親元から離れたい・一人暮らしがしたい
- 6 賑やかな都会に憧れている
- 7 地元で知人が少ない
- 8 市内には取引先や顧客が少ない
- 9 その他 ()

問 31. 就職・転職で一旦市外に転居すると仮定した場合、いずれ郡山市に戻りたいとお考えですか。

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1 条件が整えば郡山市にいずれ戻りたい | ⇒問 32 にお答え下さい |
| 2 戻りたいとは思わない | } ⇒問 33 に進んで下さい |
| 3 市外への転居は考えていない | |

【問 31 で 1 と回答した方（条件が整えばいずれ郡山市に戻りたい方）にお聞きします】

問 32. いずれ郡山市に戻るために必要なことは何ですか。

- 1 市内や周辺に働きやすい職場が増えること
- 2 勤務先からの通勤費補助・家賃補助
- 3 公共交通が充実し、通勤・通学がしやすくなること
- 4 希望に近い住宅（費用・広さ・部屋数・設備等）が増えること
- 5 行政による住宅取得支援
- 6 地元での結婚支援により結婚相手を見つけやすくなること
- 7 子育て支援が充実されること
- 8 教育機関が多様化し、進学先の選択肢の幅が広がること
- 9 商店の充実等により買い物がしやすくなること
- 10 その他 ()

問 41. 現在勤務されている事業所、あるいは自営されている主な業種をお聞かせ下さい。

- | | | |
|----------------------|----------------|-----------------|
| 1 農林漁業 | 2 鉱業、採石業、砂利採取業 | |
| 3 建設業 | 4 製造業 | 5 電気・ガス・熱供給・水道業 |
| 6 情報通信業 | 7 運輸業、郵便業 | 8 卸売業、小売業 |
| 9 金融業、保険業 | 10 不動産業、物品賃貸業 | |
| 11 学術研究、専門・技術サービス業 | | 12 宿泊業、飲食サービス業 |
| 13 生活関連サービス業、娯楽業 | | 14 教育、学習支援業 |
| 15 医療、福祉 | 16 複合サービス事業 | |
| 17 サービス業（他に分類されないもの） | | 18 公務 |
| 19 その他の産業（ | | ） |

問 42. 差支えなければ世帯の年間収入総額をお聞かせ下さい。（税引前総収入。事業収入の場合は売上から諸経費を差し引いた額。）

- | | | |
|----------------|----------------|----------------|
| 1 100 万円未満 | 2 100～200 万円未満 | 3 200～300 万円未満 |
| 4 300～400 万円未満 | 5 400～500 万円未満 | 6 500～600 万円未満 |
| 7 600～700 万円未満 | 8 700 万円以上 | |

問 43. 家族構成（同居親族の有無等）をお聞かせください。

- | | | |
|----------------|--------|--------------|
| 1 単身（一人暮らし） | 2 夫婦のみ | 3 二世帯同居（親と子） |
| 4 三世帯同居（親と子と孫） | | |
| 5 その他（ | | ） |

自由意見記入欄（まち・ひと・しごと創生に向けたアイデアなど）

今後、郡山市が策定する「（仮称）郡山市人口ビジョン・郡山市総合戦略」に関連して、より子どもを生み育てやすくなるようなアイデアや郡山市に人を呼び込むためのアイデアなどのご意見がありましたらご自由にお書き下さい。

アンケートは以上で終わりです。お忙しいところご協力ありがとうございました。

「(仮称) 郡山市人口ビジョン・郡山市総合戦略」策定のための

転入者に対するアンケート調査

アンケート調査の目的と調査へのご協力をお願い

市民の皆様におかれましては日頃より市政及びまちづくりにご理解ご協力を頂き誠にありがとうございます。

我が国の人口は平成 20 年から減少に転じており、とりわけ地方で人口減少が進んでいます。すでに東京圏には過度に人口が集中しており、東京圏への人口集中が日本全体の人口減少に結びついています。このような状況を受け、国では人口減少対策として平成 26 年 9 月「まち・ひと・しごと創生本部」を設置し、魅力ある地方の創生に取り組もうとしています。

郡山市ではこうした状況をうけ、「(仮称) 郡山市人口ビジョン・郡山市総合戦略」を策定し、人口減少対策に取り組むこととしております。戦略等策定にあたって、近年本市に転入された市民の皆様のお考えを伺い、移住者の増加による人口減少抑制のあり方の検討に反映するため、今回「転入者に対するアンケート調査」(以下、本アンケート調査)を実施することとなりました。本アンケート調査結果を踏まえて、住みたくなる、住み続けたくなるまちづくりに向けた方策を検討してまいります。

なお、本アンケート調査は平成 27 年 4 月 1 日から平成 27 年 7 月 1 日までの間に郡山市に市外から転入された 18 歳～49 歳(抽出時点の満年齢)の市民の皆様から 200 人の方を無作為に抽出して調査対象とさせていただきます。調査票は無記名でご回答頂きますので、個人が特定されることはありません。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力頂けますようお願い申し上げます。

平成 27 年 7 月

郡山市政策開発部政策開発課

調査票への回答にあたって

- 本アンケート調査にはお送りした封筒の宛名の方が回答して下さい。回答者ご本人が長期不在などで回答が難しい場合はご家族の方などが代わりにご回答下さい。
- 本アンケート調査は無記名です。お名前を記入せずに調査票を返送してください。
- 各設問には回答される方のお考えに最も近いものを選び、その番号に『○』印を付けてください。『○』の数は特に指定のない場合、1 つだけをお願いします。
- 『その他』に『○』を付けた場合は()内にその内容を具体的にご記入下さい。

調査票は各自でご記入いただいたのち、同封した返信用封筒に入れて切手を貼らずに最寄りの郵便ポストに 8 月 10 日(月)までにご投函下さい。

調査内容についてご不明な点があれば下記にお問い合わせ下さい

郡山市政策開発部政策開発課 担当 政策推進係 電話：(024)924-2021

(仮称) 郡山市人口ビジョン・郡山市総合戦略
構成のイメージ

地方創生をめぐる現状

1. 我が国の人口減少の現状
 - 人口減少は歯止めがかかっていない。平成 26 年の合計特殊出生率は 1.42 に低下、年間出生数は過去最低（約 100 万人）。
2. 東京一極集中の傾向
 - 平成 26 年には東京圏へ 11 万人の転入超過（前年比約 1 万 3 千人増）。若年層（特に若年女性）が流入。
3. 地域経済の現状
 - 地域経済は、有効求人倍率や一人当たり賃金、就業者数など雇用・所得面で改善。一方、消費の回復が大都市圏に比べ遅れ。人材不足も顕在化。



国

長期ビジョン：2060 年に 1 億人程度の人口を確保する中期展望を提示
総合戦略：2015～2019 年度（5 か年）の政策目標・施策を策定



地方における人口減少と地域経済縮小の克服



郡山市人口ビジョン
(2060 年までを基本)

郡山市総合戦略
(5 か年) ※国の総合戦略を勘案

郡山市

— 中長期的展望 —

- I. 人口の現状分析
人口動向や将来人口推計の分析
- II. 人口の将来展望
目指すべき将来の方向性や施策の方向性を踏まえた展望

自然増減 } 目標設定
社会増減 }

基本目標と基本的方向

具体的な施策

しごとづくり

ひとの流れをつくる

結婚・出産・子育て支援

.....

.....



本アンケートをはじめとした多様な意見の反映

問 8. 現在の郡山市における居住地域

- | | | |
|--|--------|--------|
| 1 旧郡山東部（芳賀・小原田・緑ヶ丘・東部地区など） | | |
| 2 旧郡山西部（駅前・大島・久留米・菜根・開成・小山田地区など上記地区以外） | | |
| 3 富田 | 4 大槻 | 5 安積 |
| 6 三穂田 | 7 逢瀬 | 8 片平 |
| 9 喜久田 | 10 日和田 | 11 富久山 |
| 12 湖南 | 13 熱海 | 14 田村 |
| 15 西田 | 16 中田 | |

問 9. 家族構成（同居親族の有無等）をお聞かせ下さい。

- | | | |
|----------------|--------|--------------|
| 1 単身（一人暮らし） | 2 夫婦のみ | 3 二世帯同居（親と子） |
| 4 三世帯同居（親と子と孫） | | |
| 5 その他（ | | ） |

問 10. 子どもの数

- | | | |
|------|------|--------|
| 1 0人 | 2 1人 | 3 2人 |
| 4 3人 | 5 4人 | 6 5人以上 |

問 11. 第一子の年齢（年代）をお聞かせ下さい。

- | | | |
|---------------|------------|---------------|
| 1 1歳未満 | 2 1歳以上3歳未満 | 3 3歳以上就学前 |
| 4 小学校低学年 | 5 小学校高学年 | 6 中学生 |
| 7 中学校卒業後18歳未満 | 8 18歳以上の学生 | 9 18歳以上（卒業済み） |

郡山市への転入の状況についてお聞かせ下さい

問 12. 転入の理由として当てはまるものを全て選んで下さい。（複数回答）

[仕事のため]

- | | |
|-------------------------|------------------|
| 1 自分の就職・転職のため | 2 自分の転勤のため |
| 3 配偶者の就職・転職のため | 4 配偶者の転勤のため |
| 5 お子さんの仕事のため | 6 自分または配偶者の退職のため |
| 7 自分または配偶者が家業を継ぐ（手伝う）ため | |

[進学のため]

- | | |
|------------------|--------------|
| 8 自分または配偶者の進学のため | 9 お子さんの進学のため |
|------------------|--------------|

[家庭の事情]

- | | |
|----------------------------------|------------------|
| 10 結婚のため | 11 離婚のため |
| 12 住宅の購入等のため | 13 親などの介護や見守りのため |
| 14 生活環境を変えるため（買物、病院への通院等の利便性のため） | |

[その他]

- | | |
|---------------------------|------------|
| 15 出身地だから | 16 知人がいたから |
| 17 土地や建物があつたから（相続・親族所有含む） | |
| 18 その他（ | ） |

問 13. 前住地から転居をする際に、郡山市以外を検討されましたか。

- | | | |
|-------------|-----------------|---|
| 1 郡山市に決めていた | 2 郡山市以外も検討（具体的に | ） |
|-------------|-----------------|---|

問 14. 転居先を郡山市に決めるにあたって重視したことについて、近いものを3つまで選んで下さい。(複数回答)

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1 土地・住宅の取得価格・家賃・地代 | 2 土地や住宅の広さ・設備 |
| 3 日常生活の利便性 | 4 子どもを生き育てる環境 |
| 5 高齢期の暮らしやすさ | 6 自然環境の豊かさ |
| 7 防災・防犯対策など地域の安全性 | 8 まちの賑やかさ |
| 9 親や子ども・親族の家との近さ | 10 通勤・通学の便利さ |
| 11 公共料金の安さ | |
| 12 その他 () | |

問 15. 転居前後における住宅所有の状況についてお聞かせ下さい。

転入前の住宅所有状況	転入後の住宅所有状況
1 持ち家 (一戸建て)	1 持ち家 (一戸建て)
2 持ち家 (マンション等)	2 持ち家 (マンション等)
3 借家 (一戸建て)	3 借家 (一戸建て)
4 借家 (マンション等)	4 借家 (マンション等)
5 公営住宅	5 公営住宅
6 社宅・公務員住宅・寮	6 社宅・公務員住宅・寮
7 その他 ()	7 その他 ()

郡山市の満足度・居住継続意向についてお聞かせ下さい

問 16. 郡山市に住んでみてよかった点はどのようなところですか。あなたの考えに近いものを3つまで選んで下さい。(複数回答)

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1 自然の豊かさ | 2 農産品など食の豊かさ |
| 3 仕事の見つけやすさ | 4 歴史的なまちなみ・風土 |
| 5 文化的雰囲気、文化活動の充実 | 6 温泉などのレジャーの充実 |
| 7 東京・仙台との時間距離の近さ | 8 公共交通機関の利便性 |
| 9 自動車による移動のしやすさ | 10 買物などの利便性 |
| 11 物価の安さ | 12 学校などの教育環境 |
| 13 子育ての環境 | 14 医療・福祉体制の充実 |
| 15 地域コミュニティのあたたかさ | 16 特になし |
| 17 その他 () | |

問 17. 前住地と比べて、郡山市は住みやすいですか。

- | | | |
|------------|------------|---------|
| 1 とても住みやすい | 2 住みやすい | 3 変わらない |
| 4 住みにくい | 5 とても住みにくい | |

問 18. 今後も郡山市に住み続けたいですか。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1 今後も現在と同じ所に住み続けたい | 2 将来は市内の別の場所に引っ越したい |
| 3 市外に引っ越したい | 4 決めていない |
| 5 その他 () | |

定住促進、新规定住者の増加に繋がる施策についてお聞かせ下さい

問 19. あなたが今後とも郡山市に住み続けるために充実が必要と考えることは何ですか。近いものを3つまで選んで下さい。(複数回答)

- | | |
|-------------------------------|-------------------|
| 1 公共交通の利便性向上 | 2 道路や施設のバリアフリー化 |
| 3 防災対策の充実 | 4 身近で多様な働く場所の充実 |
| 5 ライフステージに応じて住み替えが可能な多様な住宅の供給 | |
| 6 商店の充実などによる都市的な魅力の向上 | 7 観光の充実による交流の活性化 |
| 8 医療・福祉施設の充実 | 9 教育や文化活動の充実 |
| 10 子育て支援の充実 | 11 医療・福祉・健康づくりの充実 |
| 12 環境にやさしいまちづくりの充実 | 13 自然環境の保全 |
| 14 その他 () | |

問 20. 転入者の立場から、今後新规定住者を増加させるために必要なことは何だと思われますか。近いものを3つまで選んで下さい。(複数回答)

[情報発信・交流活性化]

- 1 新聞・雑誌等への移住に関する情報発信の充実
- 2 テレビやラジオへの移住に関する情報発信の充実
- 3 インターネットなどへの移住に関する情報発信の充実
- 4 移住関係イベント・セミナーにおける情報発信
- 5 観光の振興による交流の活性化

[相談]

- 6 移住に関する市役所のワンストップ窓口の相談機能の充実
- 7 県の出先窓口などにおける相談機能の充実

[支援]

- 8 就職あっせん
- 9 不動産状況の提供
- 10 空き家の仲介 (空き家対策との連携)
- 11 移住費用の一部助成

[その他]

- 12 その他 ()

自由意見記入欄 (まち・ひと・しごと創生に向けたアイデアなど)

今後、郡山市が策定する「(仮称) 郡山市人口ビジョン・郡山市総合戦略」に関連して、より子どもを生き育てやすくなるようなアイデアや郡山市に人を呼び込むためのアイデアなどのご意見がありましたらご自由にお書き下さい。

アンケートは以上で終わりです。お忙しいところご協力ありがとうございました。

「(仮称) 郡山市人口ビジョン・郡山市総合戦略」策定のための

転出者に対するアンケート調査

アンケート調査の目的と調査へのご協力をお願い

皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、以前郡山市にお住いの際は、市政及びまちづくりにご理解ご協力を頂き誠にありがとうございました。

我が国の人口は平成 20 年から減少に転じており、とりわけ地方で人口減少が進んでいます。すでに東京圏には過度に人口が集中しており、東京圏への人口集中が日本全体の人口減少に結びついています。このような状況を受け、国では人口減少対策として平成 26 年 9 月「まち・ひと・しごと創生本部」を設置し、魅力ある地方の創生に取り組もうとしています。

郡山市ではこうした状況をうけ、「(仮称) 郡山市人口ビジョン・郡山市総合戦略」を策定し、人口減少対策に取り組むこととしております。戦略等策定にあたって、近年本市から市外に転出された皆様の転出に至った状況やお考えを伺い、転出による人口減少抑制のあり方の検討に反映するため、今回「転出者に対するアンケート調査」(以下、本アンケート調査)を実施することとなりました。本アンケート調査結果を踏まえて、住み続けたくなるまちづくりに向けた方策を検討してまいります。

なお、本アンケート調査は平成 27 年 4 月 1 日から平成 27 年 7 月 1 日までの間に郡山市から市外に転出された 18 歳～49 歳(抽出時点の満年齢)の市民の皆様から 300 人の方を無作為に抽出して調査対象とさせていただきます。調査票は無記名でご回答頂きますので、個人が特定されることはありません。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力頂けますようお願い申し上げます。

平成 27 年 7 月

郡山市政策開発部政策開発課

調査票への回答にあたって

- 本アンケート調査にはお送りした封筒の宛名の方が回答して下さい。回答者ご本人が長期不在などで回答が難しい場合はご家族の方などが代わりにご回答下さい。
- 本アンケート調査は無記名です。お名前を記入せずに調査票を返送してください。
- 各設問には回答される方のお考えに最も近いものを選び、その番号に『○』印を付けてください。『○』の数は特に指定のない場合、1 つだけをお願いします。
- 『その他』に『○』を付けた場合は()内にその内容を具体的にご記入下さい。

調査票は各自でご記入いただいたのち、同封した返信用封筒に入れて切手を貼らずに最寄りの郵便ポストに 8 月 10 日(月)までにご投函下さい。

調査内容についてご不明な点があれば下記にお問い合わせ下さい

郡山市政策開発部政策開発課 担当 政策推進係 電話：(024)924-2021

(仮称) 郡山市人口ビジョン・郡山市総合戦略
構成のイメージ

地方創生をめぐる現状

1. 我が国の人口減少の現状
 - 人口減少は歯止めがかかっていない。平成 26 年の合計特殊出生率は 1.42 に低下、年間出生数は過去最低（約 100 万人）。
2. 東京一極集中の傾向
 - 平成 26 年には東京圏へ 11 万人の転入超過（前年比約 1 万 3 千人増）。若年層（特に若年女性）が流入。
3. 地域経済の現状
 - 地域経済は、有効求人倍率や一人当たり賃金、就業者数など雇用・所得面で改善。一方、消費の回復が大都市圏に比べ遅れ。人材不足も顕在化。



国

長期ビジョン：2060 年に 1 億人程度の人口を確保する中期展望を提示
総合戦略：2015～2019 年度（5 か年）の政策目標・施策を策定



地方における人口減少と地域経済縮小の克服



郡山市

郡山市人口ビジョン
(2060 年までを基本)

郡山市総合戦略
(5 か年) ※国の総合戦略を勘案

— 中長期的展望 —

- I. 人口の現状分析
人口動向や将来人口推計の分析
- II. 人口の将来展望
目指すべき将来の方向性や施策の方向性を踏まえた展望

自然増減 } 目標設定
社会増減 }

基本目標と基本的方向

具体的な施策

しごとづくり

ひとの流れをつくる

結婚・出産・子育て支援

.....

.....



本アンケートをはじめとした多様な意見の反映

問 19. 現住地における今後の居住継続意向、郡山市への再転入の意向についてお聞かせ下さい。

- 1 今後も現住地に住み続けたい
- 2 将来は現住地周辺の別の場所に引っ越したい
- 3 将来は現在とは別の地域に引っ越したい（下記以外）
- 4 いずれは郡山市に戻りたい
- 5 いずれは福島県内に戻りたい
- 6 いずれは東北地方に戻りたい
- 7 決めていない
- 8 その他（ ）

問 20. 将来、郡山市に戻るために必要となることは何ですか。あなたのお考えに近いものを3つまで選んで下さい。（複数回答）

- 1 市内や周辺に働きやすい職場が増えること
- 2 勤務先からの通勤費補助・家賃補助
- 3 公共交通が充実し、通勤・通学がしやすくなること
- 4 希望に近い住宅（費用・広さ・部屋数・設備等）が増えること
- 5 行政による住宅取得支援
- 6 地元での結婚支援により結婚相手を見つけやすくなること
- 7 子育て支援が充実されること
- 8 教育機関が多様化し、進学先の選択肢の幅が広がること
- 9 商店の充実等により買い物がしやすくなること
- 10 その他（ ）

自由意見記入欄（まち・ひと・しごと創生に向けたアイデアなど）

今後、郡山市が策定する「(仮称) 郡山市人口ビジョン・郡山市総合戦略」に関連して、より子どもを生み育てやすくなるようなアイデアや郡山市に人を呼び込むためのアイデアなどのご意見がありましたらご自由にお書き下さい。

アンケートは以上で終わりです。お忙しいところご協力ありがとうございました。

「(仮称) 郡山市人口ビジョン・郡山市総合戦略」

策定のためのアンケート調査 に

ご協力ありがとうございます

このたびは「(仮称) 郡山市人口ビジョン・郡山市総合戦略」策定のためのアンケート調査にご協力頂き、誠にありがとうございました。

ご回答頂きましたアンケート調査結果は、本市の今後目指すべき方向性を提示する「(仮称) 郡山市人口ビジョン・郡山市総合戦略」の策定に活用させていただきます。

なお、アンケート調査票がまだお手元にございましたら、お手数ですがご記入の上ご返送くださいますようお願い申し上げます。

なお、本状と行き違いでご返送済みの際はご容赦願います。

平成 27 年 8 月

郡山市政策開発部政策開発課

担当 政策推進係

電話 (024)924-2021

